

1. ドイツ 2. 日本 3. 中国 4. アメリカ合衆国

1. アパラチア山脈から得られる豊富な木材を燃料として、古くからの伝統的な製鉄技術を維持し続けたため
2. 自動車産業が集積するデトロイトに近いことを利用し、メキシコ湾からパイプラインで運ばれる石油を主な燃料としたため
3. 原料となる石炭の産地に近いことに加え、五大湖の水運を利用して鉄鉱石を運び込むのに有利な立地であったため
4. サンフランシスコなどの西海岸の都市と同様に、アジアから輸入される安価な石炭と鉄鉱石を加工する拠点となったため

1. ピッツバーグ：鉄鋼業、シリコン
バレー：先端技術産業

2. ピッツバーグ：先端技術産業、シ
リコンバレー：自動車工業

3. ピッツバーグ：鉄鋼業、シリコン
バレー：繊維工業

4. ピッツバーグ：自動車工業、シリ
コンバレー：先端技術産業

1. 熱帯の気候を利用して、一年中休むことなく手作業による集約的な二期作が行われているため。
2. 小麦の国際価格を安定させるため、アメリカ合衆国政府が国内消費を厳しく制限しているため。
3. ASEAN（東南アジア諸国連合）などの地域統合に参加し、加盟国間でのみ小麦を流通させているため。
4. 広大な土地で大型機械を活用し、少ない労働力で大量の作物を生産する企業的な農業が行われているため。

1. アメリカ合衆国 2. オーストラリア 3. カナダ 4. ブラジル

1. 中国 2. 日本 3. インド 4. アメリカ合衆国

1. カナダ 2. 中国 3. エジプト 4. インド

1. 乾燥帯の砂漠において、貴重な地下水を都市部へ供給するために建設された外来河川の引水管である。
2. 熱帯雨林の湿地帯において、銅鉱石を効率よく港まで運ぶために建設された輸送路である。
3. 永久凍土が広がる寒冷地において、原油を輸送するために建設されたパイプラインである。
4. 季節風による大雪の影響を避けるため、石炭を地上から浮かせて運ぶ専用の鉄道高架である。

1. 西端にアパラチア山脈、東端にロッキー山脈が位置し、その間を中央平原とプレーリーが埋めている。
2. 大陸中央部には標高4000m級のプレーリーが広がり、その両側をロッキー山脈とアパラチア山脈が挟んでいる。
3. 西部の険しいロッキー山脈から東へ向かうにつれ、標高の高いプレーリー、標高の低い中央平原へと変化する。
4. 東部のなだらかなアパラチア山脈から西へ向かうにつれ、標高の低いプレーリー、標高の高い中央平原へと変化する。

1. 華人 2. ネイティブアメリカン 3. ヒスパニック 4. アングロサクソン

1. 南アメリカ諸国との経済的な統合を強め、将来的な共通通貨の導入を主な目的としている。
2. 域内での関税を原則として撤廃し、自由な貿易を促進することで北アメリカの経済発展を目指している。
3. 特定の2か国間で、貿易だけでなく人の移動や知的財産の保護など幅広い経済的な連携を強化している。
4. 太平洋を取り囲むアジアや北アメリカの国々が参加し、投資やサービスを含む幅広い分野の自由化を目指している。

1. 建国期にイギリスから移住し、キリスト教のプロテスタントを信仰することでアメリカ社会の中心的役割を担ってきた。
2. 北アメリカ大陸に古くから定住していた先住民であり、現在は保留地と呼ばれる特定の地域で独自の文化を守りながら生活している。
3. 19世紀以降に中国や日本などから西海岸に移住し、農業や鉄道建設の労働力として活躍した人々のことを指す。
4. 地理的に隣接するメキシコなどから労働力を求めて流入しており、アメリカ最大のマイノリティ（少数派）集団となっている。

1. 鉄鉱石や石炭などの資源が得やすい五大湖周辺に立地し、大規模な設備を用いた製造を行っている。
2. 自動車産業が盛んなデトロイトのように、古くから発達した水上交通や広大な土地を利用して工場を構えている。
3. 高度な専門知識や技術を持つ人材を確保するため、大学や研究機関が立地する都市近郊に集積している。
4. メキシコからの安価な労働力を確保しやすい「サンベルト」と呼ばれる北緯37度以南の地域にのみ集中している。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は世界最大の消費市場であり、旺盛な国内需要を背景に、中国などの海外から多くの製品を輸入しています。そのため、主要先進国の中でも輸入額が輸出額を大きく上回る「貿易赤字」の状態が継続していることが、統計上の大きな特徴となっています。
問2	答え 3 原料となる石炭の産地に近いことに加え、五大湖の水運を利用して鉄鉱石を運び込むのに有利な立地であったため	製鉄業は重量のある石炭と鉄鉱石を大量に消費するため、それらの輸送コストが低い場所に成立します。ピッツバーグはアパラチア炭田の北端にあり、さらに五大湖を経由してミシガン州やミネソタ州の鉄鉱石を運べるルート上にあったため、重厚長大産業の拠点となりました。デトロイトは自動車、サンフランシスコはICT（情報通信技術）やシリコンバレーに関連する都市であり、背景が異なります。
問3	答え 1 ピッツバーグ：鉄鋼業、シリコンバレー：先端技術産業	アメリカ合衆国では時代とともに主要な工業地域が変化してきました。20世紀前半には、アパラチア炭田の石炭や五大湖周辺の鉄鉱石を背景に、ピッツバーグを中心に鉄鋼業が発展しました。一方で、近年ではカリフォルニア州のシリコンバレーなどで、高度な知識や技術が必要とする半導体やソフトウェアなどの先端技術産業（ハイテク産業）が世界をリードしています。
問4	答え 4 広大な土地で大型機械を活用し、少ない労働力で大量の作物を生産する企業的な農業が行われているため。	アメリカ合衆国では、グレートプレーンズやプレーリーなどの広大な平原を利用し、大型の農業機械を導入して効率的に生産を行う「企業的穀物農業」が発達しています。家族での消費を目的とした農業ではなく、最初から販売や輸出を目的として大量に生産するため、国内生産量の30パーセント以上という高い割合を海外へ輸出することが可能になっています。
問5	答え 1 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、広大な土地と高度な機械化を背景に、世界でも有数の小麦生産量を誇っています。中国やインドは人口が多く国内での消費量も多いため生産量が上位に位置しますが、アメリカ合衆国はロシアとともに主要な小麦輸出国の役割も果たしています。
問6	答え 4 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、先進国の中で最も温室効果ガスの排出量が多い国の一つです。中国は排出総量では世界1位ですが、人口が非常に多いため1人あたりの排出量はアメリカ合衆国を下回ります。アメリカ合衆国は、大規模な農業や工業、そして大量消費型の生活様式を背景に、1人あたりの排出量が非常に多いのが特徴です。
問7	答え 1 カナダ	北アメリカに位置するカナダは、ロシアに次いで世界で2番目に広い国土面積を持ちますが、北部の寒冷な気候などの影響もあり、人口は国土の広さに対して少なくなっています。そのため、人口密度が非常に低いことが統計上の大きな特徴です。一方で、豊かな天然資源や高度な工業化を背景に、1人あたりの国内総生産（GDP）は世界でも上位に位置する先進国としての側面を持っています。
問8	答え 3 永久凍土が広がる寒冷地において、原油を輸送するために建設されたパイプラインである。	北アメリカの北極海沿岸などで産出される原油を、凍結しない港まで運ぶために建設されたのがアラスカのパイプラインです。この地域特有の「永久凍土」という環境条件に対応するため、一般的な地中埋設ではなく、高床式のような構造で地上に設置されているのが大きな特徴です。
問9	答え 3 西部の険しいロッキー山脈から東へ向かうにつれ、標高の高いプレーリー、標高の低い中央平原へと変化する。	北アメリカ大陸は、西から「新期造山帯の険しいロッキー山脈」「標高が比較的高く広大な草原であるプレーリー」「ミシシッピ川流域の標高の低い中央平原」「古期造山帯のなだらかなアパラチア山脈」という順に配置されています。西から東へ向かって標高が段階的に下がっていく構造を理解することが重要です。
問10	答え 3 ヒスパニック	かつてスペインの植民地であったメキシコや中南米諸国からの移民は、スペイン語を話す文化的共通性があるためヒスパニックと呼ばれます。近年アメリカ国内で急速に人口が増加しており、社会的に大きな影響力を持っています。
問11	答え 2 域内での関税を原則として撤廃し、自由な貿易を促進することで北アメリカの経済発展を目指している。	USMCAは、北アメリカの3か国が経済的な壁を取り除くことで、域内の産業競争力を高めることを目指しています。1994年に発効したNAFTA（北米自由貿易協定）を継承しつつ、自動車部品の域内調達率の引き上げや、インターネット上での取引に関するルールを定めるなど、現代の経済状況に合わせた枠組みとなっています。
問12	答え 4 地理的に隣接するメキシコなどから労働力を求めて流入しており、アメリカ最大のマイノリティ（少数派）集団となっている。	ヒスパニックはスペイン語という共通の言語を持ち、主に経済的理由から中南米よりアメリカへ移住しています。高い出生率や継続的な移民流入により、かつて最大だったアフリカ系を抜いて、現在ではアメリカで最も人口の多いマイノリティ集団となっており、政治や文化への影響力も強まっています。
問13	答え 3 高度な専門知識や技術を持つ人材を確保するため、大学や研究機関が立地する都市近郊に集積している。	ICT（情報通信技術）関連産業は、重厚長大な伝統的産業とは異なり、原材料の輸送コストよりも、イノベーションを生むための高度な人材や研究環境の確保が重要視されます。そのため、サンフランシスコ近郊のシリコンバレーのように、優れた大学が存在し、知識が集約されやすい沿岸部の都市圏に多く立地しています。